

実務経験を有する教員の授業

学芸学部

| 学科      | 学部     | 授業科目名          | 単位数  | 担当教員名 | 概要  |
|---------|--------|----------------|--|-------|---|
| 日本文学科   | 全学共通科目 | 基礎演習           | 2  | 内山 淳一 | 博物館勤務の経験を活かし、美術作品をわかりやすく解説する方法について解説する。また、現場課題となっている著作権の問題や研究倫理についても指導する科目である。                          |
|         |        | 総合コースE(宗教と社会)  | 4  | 新免 貢  | 牧師としての実務経験を活かし、教養と精神の自由を否定する極端な聖書解釈やクラーン解釈の危険性を訴え、暴力発生のプロセスと暴力を抑止する方法を考察する機会を供する科目である。                  |
|         | 学部共通科目 | 社会保障と福祉        | 2  | 熊坂 聡  | 児童施設の主任指導員や施設長、障害者施設や特別養護老人ホームなどの施設長という実務経験を、授業のテーマに対する動機づけや、社会保障制度や福祉の仕組みの解説に現場の具体例として活かした指導を行う科目である。  |
|         | 専門科目   | 教養講義B(健康)      | 2  | 正木 恭介 | 栄養学的基礎知識を学び、健康増進や疾病予防について理解する科目である。また、健康被害について製薬企業における食品開発の実務経験を活かし、具体的な事例を挙げ、ディスカッションやグループワークを交えて指導する。 |
|         |        | 特殊研究(宗教学)      | 2  | 新免 貢  | 牧師としての実務経験が本講義の基盤となっている。本授業では古代社会において機能していた犠牲のシステムと共同体維持の論理等をディスカッションを交えながら学習する科目である。                   |
|         |        | 特殊研究(イエスのたとえ話) | 2  | 栗原 健  | 牧師助手としてニューヨークの日米合同教会での家庭集会で進んでいた『イエスのたとえ話』の学びを、特殊研究講義の核として実践している科目である。                                  |
|         |        | 日本語教育概説 I      | 2  | 澤邊 裕子 | 日本語教師として国内外の教育機関で教えた実務経験を受講生に伝え、実務経験により得たネットワークを生かした指導をする科目である。   |
| 日本文化史 I | 2      | 深澤 昌夫          | 中世の古典芸能を扱う「日本文化史 I」では、毎年プロの能役者を講師に招き、謡を体験したり、本物の能面や装束を見・着装する機会を設けた科目である。 |       |   |

学科合計 18 単位

| 学科      | 学部     | 授業科目名          | 単位数   | 担当教員名 | 概要  |
|---------|--------|----------------|---|-------|---|
| 英文学科    | 全学共通科目 | 基礎演習           | 2   | 太田 峰夫 | 10年間『レコード芸術』誌に記事を執筆した経験から得た知見や、数多くの文章を仕上げた経験を活かし、文章の書き方等について指導する科目である。                                  |
|         |        | 総合コースE(宗教と社会)  | 4   | 新免 貢  | 牧師としての実務経験を活かし、教養と精神の自由を否定する極端な聖書解釈やクラーン解釈の危険性を訴え、暴力発生のプロセスと暴力を抑止する方法を考察する機会を供する科目である。                  |
|         | 学部共通科目 | 社会保障と福祉        | 2   | 熊坂 聡  | 児童施設の主任指導員や施設長、障害者施設や特別養護老人ホームなどの施設長という実務経験を、授業のテーマに対する動機づけや、社会保障制度や福祉の仕組みの解説に現場の具体例として活かした指導を行う科目である。  |
|         | 専門科目   | キリスト教と現代社会     | 2   | 新免 貢  | 基督教団で各種教育プログラム企画の実務に従事してきた経験を活かし、現代世界の諸課題である経済格差や差別、暴力、多様性に対する認識などに対し、現実的な視点から指導する科目である。                |
|         |        | 教養講義B(健康)      | 2   | 正木 恭介 | 栄養学的基礎知識を学び、健康増進や疾病予防について理解する科目である。また、健康被害について製薬企業における食品開発の実務経験を活かし、具体的な事例を挙げ、ディスカッションやグループワークを交えて指導する。 |
|         |        | 特殊研究(宗教学)      | 2   | 新免 貢  | 牧師としての実務経験が本講義の基盤となっている。本授業では古代社会において機能していた犠牲のシステムと共同体維持の論理等をディスカッションを交えながら学習する科目である。                   |
|         |        | 特殊研究(イエスのたとえ話) | 2   | 栗原 健  | 牧師助手としてニューヨークの日米合同教会での家庭集会で進んでいた『イエスのたとえ話』の学びを、特殊研究講義の核として実践している科目である。                                  |
|         |        | 図書館情報学概論       | 2   | 桂 啓壮  | 国際協力事業団の経験や、ODAの一環として国立フィリピン教育大学図書館建設プロジェクトに携わった経験を活かし、図書館情報学を学ぶうえで必要とされる基礎知識を解説する科目である。                |
| 情報サービス論 | 2      | 桂 啓壮           | 開発途上国情報に関するレファレンス・サービス業務に従事した経験や、国際協力事業団の経験を活かし、レファレンス・サービスなどの利用者に対する情報提供サービス業務について具体的に指導する科目である。 |       |   |

学科合計 20 単位

| 学科     | 学部     | 授業科目名         | 単位数  | 担当教員名 | 概要   |
|--------|--------|---------------|--|-------|--|
| 人間文化学科 | 全学共通科目 | 基礎演習          | 2  | 太田 峰夫 | 10年間『レコード芸術』誌に記事を執筆した経験から得た知見や、数多くの文章を仕上げた経験を活かし、文章の書き方等について指導する科目である。                                 |
|        |        | 総合コースE(宗教と社会) | 4  | 新免 貢  | 牧師としての実務経験を活かし、教養と精神の自由を否定する極端な聖書解釈やクラーン解釈の危険性を訴え、暴力発生のプロセスと暴力を抑止する方法を考察する機会を供する科目である。                 |
|        | 学部共通科目 | 社会保障と福祉       | 2  | 熊坂 聡  | 児童施設の主任指導員や施設長、障害者施設や特別養護老人ホームなどの施設長という実務経験を、授業のテーマに対する動機づけや、社会保障制度や福祉の仕組みの解説に現場の具体例として活かした指導を行う科目である。 |
|        | 専門科目   | キリスト教と現代社会    | 2  | 栗原 健  | ニューヨークで礼拝説教を担当した経験、ニューヨークの日米合同教会で牧会助手として勤めていた経験を、人権思想の発展とキリスト教の関係など歴史的な事例の学びに活用した指導をする科目である。           |
|        |        | 博物館経営論        | 2  | 内山 淳一 | この講義では、博物館館長としての経験を活かし、博物館経営に関して学芸員として基本的に身に付けておくことが望ましい能力とは何か、さまざまな事例を通して具体的に紹介する科目である。               |
|        |        | メディア論         | 2  | 間瀬 幸江 | 官公庁での勤務経験を踏まえ、クラスを組織に見立て、各自で独立した担当タスクを持ち、組織全体としての最終目標を設定しての実践を試みる科目である。                                |
|        |        | 芸術史概説         | 2  | 内山 淳一 | 博物館勤務の経験を活かし、画像やDVDなどを用いながら、それぞれの絵が発信するメッセージを読み取るヒントを解説し、絵の本来の意味を理解を指導する科目である。                         |
| 日本美術史A | 2      | 内山 淳一         | 博物館勤務の経験を活かし、美術品の構造や素材、技法などについてもわかりやすく解説する科目である。 |       |  |

学科合計 18 単位

| 学科             | 学部     | 授業科目名         | 単位数  | 担当教員名 | 概要  |
|----------------|--------|---------------|--|-------|---|
| 心理行動科学科        | 全学共通科目 | 基礎演習          | 2  | 太田 峰夫 | 10年間『レコード芸術』誌に記事を執筆した経験から得た知見や、数多くの文章を仕上げた経験を活かし、文章の書き方等について指導する科目である。  |
|                |        | 総合コースE(宗教と社会) | 4  | 新免 貢  | 牧師としての実務経験を活かし、教養と精神の自由を否定する極端な聖書解釈やクラーン解釈の危険性を訴え、暴力発生のプロセスと暴力を抑止する方法を考察する機会を供する科目である。                            |
|                | 学部共通科目 | 社会保障と福祉       | 2  | 熊坂 聡  | 児童施設の主任指導員や施設長、障害者施設や特別養護老人ホームなどの施設長という実務経験を、授業のテーマに対する動機づけや、社会保障制度や福祉の仕組みの解説に現場の具体例として活かした指導を行う科目である。            |
|                | 専門科目   | キリスト教         | 2  | 栗原 健  | ニューヨークの日米合同教会で牧会助手として勤めていた経験を、キリスト教思想の本質とその社会との関わりについて基礎的な教養を提供する基盤として活用して指導する科目である。                              |
|                |        | 音楽の世界         | 2  | 船橋 洋介 | 指揮者として全国各地での地域芸術文化振興や各企業・教育現場などでの音楽制作活動の経験を活かし、クラス合唱を通じて、リハーサルからコンサートを創り上げる実習のプロセスを通して、社会と音楽の関わりや音楽の魅力を指導する科目である。 |
|                |        | 教養講義B(健康)     | 2  | 正木 恭介 | 栄養学的基礎知識を学び、健康増進や疾病予防について理解する科目である。また、健康被害について製薬企業における食品開発の実務経験を活かし、具体的な事例を挙げ、ディスカッションやグループワークを交えて指導する。           |
|                |        | 特殊研究(宗教学)     | 2  | 新免 貢  | 牧師としての実務経験が本講義の基盤となっている。本授業では古代社会において機能していた犠牲のシステムと共同体維持の論理等をディスカッションを交えながら学習する科目である。                             |
| 特殊研究(イエスのたとえ話) | 2      | 栗原 健          | 牧師助手としてニューヨークの日米合同教会での家庭集会で進んでいた『イエスのたとえ話』の学びを、特殊研究講義の核として実践している科目である。 |       |   |

学科合計 18 単位

| 学科    | 学部     | 授業科目名          | 単位数   | 担当教員名  | 概要  |
|-------|--------|----------------|-------|--|---|
| 音楽科   | 全学共通科目 | 基礎演習           | 2     | 内山 淳一  | 博物館勤務の経験を活かし、美術作品をわかりやすく解説する方法について解説する。また、現場課題となっている著作権の問題や研究倫理についても指導する科目である。                                    |
|       |        | 総合コースE(宗教と社会)  | 4     | 新免 貢   | 牧師としての実務経験を活かし、教養と精神の自由を否定する極端な聖書解釈やクラーン解釈の危険性を訴え、暴力発生のプロセスと暴力を抑止する方法を考察する機会を供する科目である。                            |
|       | 学部共通科目 | 社会保障と福祉        | 2     | 熊坂 聡   | 児童施設の主任指導員や施設長、障害者施設や特別養護老人ホームなどの施設長という実務経験を、授業のテーマに対する動機づけや、社会保障制度や福祉の仕組みの解説に現場の具体例として活かした指導を行う科目である。            |
|       | 専門科目   | キリスト教と現代社会     | 2     | 栗原 健   | ニューヨークで礼拝説教を担当した経験、ニューヨークの日米合同教会で牧会助手として勤めていた経験を、人権思想の発展とキリスト教の関係など歴史的な事例の学びに活用した指導をする科目である。                      |
|       |        | 教養講義B(健康)      | 2     | 正木 恭介  | 栄養学的基礎知識を学び、健康増進や疾病予防について理解する科目である。また、健康被害について製薬企業における食品開発の実務経験を活かし、具体的な事例を挙げ、ディスカッションやグループワークを交えて指導する。           |
|       |        | 特殊研究(宗教学)      | 2     | 新免 貢   | 牧師としての実務経験が本講義の基盤となっている。本授業では古代社会において機能していた犠牲のシステムと共同体維持の論理等をディスカッションを交えながら学習する科目である。                             |
|       |        | 特殊研究(イエスのたとえ話) | 2     | 栗原 健   | 牧師助手としてニューヨークの日米合同教会での家庭集会で進んでいた『イエスのたとえ話』の学びを、特殊研究講義の核として実践している科目である。  |
|       |        | ベーシックスキル       | 1     | 船橋 洋介  | 主宰する音楽教室での経験を活かし、指揮者の観点から演奏者として求められる音楽表現のためのスキルとして、ソルフェージュ、スコアリーディング、楽典(ベーシックスキル)を包括する音楽通論等を、多角的に捉えた実習の指導をする科目である |
|       |        | 日本音楽史概論        | 2     | 大内 典   | 公立中学校での音楽教諭としての実務経験を踏まえ、授業で日本音楽を扱う場合に必要となる音楽史的理解、日本音楽のしくみについての理解を深める指導をする。現場での授業実践に活用できそうな音楽活動も、適宜組み入れた科目である。     |
| 指揮法 I |        | 1              | 船橋 洋介 | これまで指揮者として、国際指揮者コンクールでの経験に加えて諸外国でのステージ、国内の殆どのプロ・オーケストラやアーティストとの共演を通じて培った指揮法のスキルを学習者に提供する科目である。 |   |

学科合計 20 単位